

# 自分で判断し、家族で選択する、住まいのかたち

## 1. リビングルームは、ソファを置くか？

座卓やこたつを置くか？

日本人は、畳にごろりと横になるのが一番リラックスできるようです。こたつにも根強い人気があります。ソファを置いても、背もたれ代わりにして床にすわってしまう話もよく聞きます。自分に合う、家族に合った団らんのかたちをどういう形にするかを語り合うことは、家族や親子関係を考える絶好の機会だと思います。

## 2. ダイニングとリビングは、

建具で仕切るか？オープンにするか？

リビングルームは客間と兼ねるので、目隠しのために建具で仕切ってしまうという考え方がありました。食事と団らんは一緒のものだから、仕切りはいらないという考え方もあります。ダイニングルームとリビングルームをひとつにして、家族も一緒になってお客様をもてなすというスタイルが増えてきました。

## 3. 階段は、廊下にある階段か？

居間や食堂にあるリビング階段か？

廊下にある階段の場合は、玄関から直接二階の個室に入ることができます。家族やお客様と顔を合わせないで済みますが、その弊害も指摘されています。リビング階段は、リビングルームを通して二階へ行かなければならないことで、子どもの動きや気配が感じられ、コミュニケーションを取りやすくします。ただし、お客様にも家族の動きが見えることとなります。

## 4. 吹抜けを、どう考えるか？

家全体が同じ温度に維持できる、高气密・高断熱構法になってから、吹抜けは暖房や冷房がきかないという心配はなくなりました。むしろ、家全体の温度差をなくすために、積極的に採用している傾向があります。天井の高い吹抜け空間は開放感を生み出し

光と風の通り道にもなります。

## 5. 台所は、独立式か？壁向き式か？

対面式か？

台所が独立していると、多少ちらかしても見えないし、料理に集中できますが、家族の顔が見えません。壁向き式キッチン、家族に対しての向きになります。誰かが気軽に料理に参加できます。対面式キッチンは、料理しながら家族とコミュニケーションができ、ダイニングルームを見渡すことができます。

## 6. お年よりの部屋にとって大事なことは？

これまでは、陽の当たる明るい場所に、というのが一般的でした。最近になって、お年よりにとって大事なことは、陽の光よりも、家族の気配を感じながら刺激を受けて暮らすことだと言われるようになりました。お年よりの部屋を、リビングルームやダイニングルームに隣接して配置しようとする考え方です。

## 7. 夫婦の寝室にとって大事なことは？

限られた予算の中で、優先順位が最も低いのが夫婦の寝室でした。しかし、子どもが部屋を必要とする期間よりも、夫婦で過ごす時間の方がはるかに長いはず。寝るだけでなく、趣味・テレビ・ドリンクコーナー・語り合えるコーナーなど、夫婦がどんな部屋にしたいかが大切、という考え方が増えてきたようです。

## 8. 子ども室にとって大事なことは？

優先順位が高いのが子ども室でした。でも、広く快適な子ども室を与えたことによって、逆に親子のコミュニケーションが少なくなったという話をよく聞きます。最近は、プライバシーや個性の尊重も大切ですが、ベッドと机が並ぶ簡素なもので結構、遊ぶときはリビングルームで、という考え方が出てきました。